【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【公開番号】特開2018-104170(P2018-104170A)
【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)
【年通号数】公開・登録公報2018-025
【出願番号】特願2016-254411(P2016-254411)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　1/26　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　3/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　1/26　３１４Ｂ
Ｂ６５Ｈ　3/06　３５０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和1年11月13日(2019.11.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置本体と、
媒体に印刷を行う印刷部と、
前記装置本体に対して着脱可能に設けられ、前記媒体を収容可能な媒体収容体と、
前記装置本体に設けられ、当該装置本体に装着された前記媒体収容体に収容される前記媒体に接触した状態で回転することにより、前記媒体収容体から前記媒体を取り出す第一ローラーと、
前記装置本体に設けられ、前記第一ローラーの回転により前記媒体収容体から取り出された前記媒体を挟み込んで回転することにより、当該媒体を前記印刷部に向けて搬送する第二ローラー及び第三ローラーと、
前記装置本体に対する前記媒体収容体の着脱に伴って、前記第二ローラーに対する前記第三ローラーの位置を変位させる変位機構と、を備え、
前記媒体収容体は、付勢部材の付勢力によって、収容する前記媒体を前記第一ローラーに押し付ける給送位置と、前記媒体を前記第一ローラーから前記付勢部材の付勢力に抗して離間させる待機位置との間を移動可能なホッパーを有し、
前記変位機構は、前記装置本体に前記媒体収容体を装着する際に、前記第三ローラーを前記第二ローラーに接触可能な接触位置に変位させ、前記装置本体から前記媒体収容体を引き出す際に、前記第三ローラーを前記第二ローラーから離れる非接触位置に変位させ、
前記第一ローラーは、前記給送位置にある前記ホッパーにより前記媒体が押し付けられた状態の下で前記媒体収容体の引き出しに伴って引き出される前記媒体との摩擦力によって、駆動源の駆動力が伝達されて回転する際の順回転方向とは逆となる逆回転方向に回転することが可能に構成されていることを特徴とする印刷装置。
【請求項２】
前記駆動源の駆動力は、前記第一ローラーが逆回転方向に回転することを許容する許容部を介して前記第一ローラーに伝達されることを特徴とする請求項１に記載の印刷装置。
【請求項３】
前記駆動源の駆動力を前記第一ローラーに伝達するための伝達機構と、

前記伝達機構から駆動力が伝達されることで前記第一ローラーを回転させる駆動歯車と、を備え、
前記伝達機構は、前記駆動歯車と接続可能なジョイント部材を有し、
前記許容部は、前記駆動歯車と前記ジョイント部材との接続部分に設けられていることを特徴とする請求項２に記載の印刷装置。
【請求項４】
前記装置本体は、前記媒体収容体を前記装置本体から引き出す際に、前記ホッパーの一部が接触することで前記付勢部材の付勢力に抗して前記ホッパーを前記待機位置に向かって変位させるカムを有し、
前記カムは、前記媒体収容体を前記装置本体から引き出す際に、前記変位機構によって前記第三ローラーが前記非接触位置に変位してから前記ホッパーの一部が接触するように設けられていることを特徴とする請求項３に記載の印刷装置。
【請求項５】
前記装置本体の奥行方向において、前記第一ローラーに対して前記第二ローラー及び前記第三ローラーが位置する側とは反対側に配置され、前記ホッパーにより付勢された前記媒体の面を前記第一ローラーと同じ側から押えることが可能な第四ローラーを備え、
前記第四ローラーは、前記給送位置にある前記ホッパーに対して前記第一ローラーよりも離れた位置に配置されていることを特徴とする請求項４に記載の印刷装置。